



## わかもの黙想会（ちょい旅） 《東京》

テーマ：「一人じゃない。共に歩もう、みんなつながっている」

日 時：2022年11月19日（土）～20日（日）

講 師：川口昭人神父様（長崎教区・水主町教会）、Sr.坂本久美子（純心聖母会）

協力司祭：萩原義幸神父様（レデンプトール会）

会 場：イエズス会無原罪聖母修道院（東京・石神井）

参加者：4名（うちオンライン1名）

スタッフ：Sr.本木（協力）、Sr.永田（協力）、Sr.萩原

2023年秋に行われるシノドスのテーマは「ともに歩む教会のためー交わり、参加、そして宣教」です。召命司牧チームでは、教皇フランシスコが教会全体に呼びかけているこのテーマに合わせて、2022年度のわかもの黙想会「ちょい旅」のテーマを、「一人じゃない。共に歩もう、みんなつながっている」としました。今年度は長崎と東京をオンラインでつなぎ、川口神父様からは入国管理センターでの働きを、シスター坂本からはマリアの汚れなきみ心についてのお話を伺いながら、日常の喧騒からちょっと離れて、イエス様と共に祈りの旅に出かけた2日間でした。共に祈り分かち合い、静かなひと時を過ごすことができました。

お話しくださいました川口神父様、シスター坂本、私たちと祈りの旅を共にしてくださった萩原神父様、参加者の皆さん、そして、わかもの黙想会のために祈りと様々な形で協力で支えてくださった純心聖母会のシスター方に心より感謝いたします。

## 参加者の感想より

### 《1日目》 【川口神父様の講話】

川口昭人神父様（長崎・水主町教会）から、大村の入国管理センターでの働きについてお話を頂きました。難民や移民のことなどニュースで聞く出来事ではなく、私たちの身近に起こっていることとして感じる事ができました。午後からは聖書を用いてのお話も伺いました。

- 神父様の講話全体が心に響きました。難民の方一人ひとりと向き合う姿や全力で自分の出来ることをしており、とても刺激を受けました。また自分一人ではなく多くの人や、難民支援をしている団体との協力などをする事で、よりためになる支援をしようとしている姿勢が心に響きました。



- 難民の活動について、さいたま教区にもポートピープルとして日本へ来られ、帰化されて、今は教会のために働いておられる神父様がいらっしゃるので、お話が自分の身近なところと結びついたように感じました。これまで他人事のような壁を突き抜けたように思います。
- 大村入国管理センター訪問の活動報告の中で、「厳しい現状だから祈りを捧げる」という言葉が印象的でした。私たちが誰かのために行くことなどは、ほんのわずかかもしれませんが「厳しい状況の中で祈っている人がいる」ということを心に留めて、出会う人に対して関わり、寄り添っていったらと思いました。
- 入国管理センターの現状や神父様方がその中でどのような活動をなさっているのか、初めて知ることができました。午後の「マルタとマリア」の話を通して、マリアのように、イエス様の呼びかけに常に心を向けていたいと思いました。また、マルタのように人に対して自分ができるところを一生懸命に行おうとする強さにもひかれました。



オンラインからも参加して  
くださいました！

【光の祭儀】夜には光の祭儀を行いました。



幻想的な光の中で心を落ち着け、神様のみ前で  
静かに祈りのひと時を持ちました。



一人ひとり共同祈願と共にろうそくを捧げました。





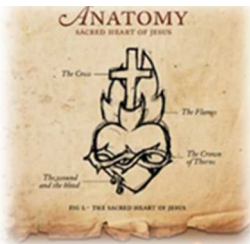
祭壇に飾られているひょうたんランプは Sr. 本木の手作りです！

神様の恵みを一杯に受け、みんなの顔が光り輝いています！



イエス様の聖心

【2日目】



シスター坂本より、純心聖母会の歴史と聖母の汚れなきみ心についてのお話を伺いました。「純心」、「マリア様、いやなことは私が喜んで」に込められた意味の深さを改めて感じることができました。



マリア様のみ心

- 純心の学園標語である「マリア様、嫌なことは私が喜んで」という言葉は、純心学園に通っていた中高時代に何度も目にしましたし、聞いていましたが、今回その意味を自分なりにしっかり理解することができたように思います。自分に余裕がある時は人に優しく、様々なことが受け入れることができますが、余裕がなく人に優しくすることが難しい時こそ「マリア様、嫌なことは私が喜んで」という言葉を思い出し、自分の身を削って人のために働こうと学びました。
- 「痛みや苦しみを伴うほどの無条件の愛」、「マリア様、嫌なことは私が喜んで」。時に視野が狭くなり、自分のことばかりを考えて周りの気にかけてくれる方をないがしろにしていると思うので、マリア様の愛、そして忍耐にならって、自分の中にもそれらを養っていきたく強く思いました。
- 「純心」とは「神様に向かってまっすぐな心」を示していて、私たちを導いてくださるマリア様の汚れなきみ心を示していることがわかりました。このマリア様のみ心に近づくと、全ての苦しむ人に対しても、イエス様が十字架上で示してくださった神様の愛を、行いを通して示していくことができるのだと思います。



黙想の家 庭のマリア様



## 【黙想会全体を通しての感想】



- 充実した2日間となりました。日常の喧騒から離れて祈りに静かに没頭できたのはとてもいい経験になりました。また、光の祭儀が素敵でした。そこで朗読したエフェソ3・16-19の箇所が自分に向けられたメッセージのように心に刺さりました。
- 自分の力ではどうにもならないことや、一步を踏み出せない時に、神様に相談したり、時には丸投げにしたいと思います。またそれが良い方向へ向かった時は、感謝も忘れないよう心がけたいと思いました。
- 初めての黙想会で少し不安な気持ちもありましたが、シスター方が温かく迎えてくださって、とてもよい2日間を過ごすことができました。黙想会の中で、神父様とお話しできたことも印象深く残っています。神父様と話した後、もう一度考え、祈ることでこれからどうしていくべきかが少し見えてきました。
- 「私たちがつながりを大切にしながら、共に歩むこと」を感じながら、皆で祈ったことが心に残っています。



黙想会の最後には、

関東地区の純心協力者会の皆さんと共にロザリオの祈りを唱えました。



「一人じゃない。共に歩もう、みんなつながっている」

また来年お会いできることを楽しみにしています！！

わかもの黙想会の様子は「純心ポプラ」のインスタグラムでも見れますよ！同日開催された長崎の黙想会の様子も見れるので、ぜひ「純心ポプラ」を訪問してみてくださいね！！



「純心ポプラ」QRコード